

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

令和8年1月26日

災害・オウム対策調査特別委員会

# 速 報 版

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

午前9時57分開会

○水野あゆみ委員長 では、皆様おそろいですので、  
ただいまより災害・オウム対策調査特別委員会を  
開会いたします。

————— ◇ —————

○水野あゆみ委員長 記録署名員を私から指名いた  
します。

鹿浜委員、はたの委員、よろしくお願いいたし  
ます。

————— ◇ —————

○水野あゆみ委員長 次に、報告事項に移ります。

①から⑪まで、以上11件を危機管理部長から  
報告願います。

○危機管理部長 皆様おはようございます。どうぞ  
よろしくお願いいたします。

それでは説明いたします。災害・オウムの資料  
のまずは2ページを御覧ください。

件名は、アレフ（オウム真理教）対策について  
でございます。

ここ最近のアレフの対策活動を報告するもので  
ございますが、項番1には、反社会的団体の規制  
に関する条例に基づく報告書請求の実施について、  
項番2は、2月の28日にアレフに対する抗議行  
動を予定しております。項番3では、地下鉄サリ  
ン事件の風化防止の展示を本庁舎で行ったこと  
について報告してございます。

今後ですが、2月の5日に足立区とは直接関係  
ないのですが、麻原の遺骨の訴訟の判決がある  
ということなので、引き続き動きについては注視  
してまいりたいと考えております。

続きまして、4ページを御覧ください。

件名は、令和7年度消火器及び住宅用火災警報  
器購入補助に係る実施期間の延長についてでござ

います。

昨年9月に開始いたしましたこの補助制度につ  
きまして、議会の方で補正予算お認めいただき  
ました。どうもありがとうございました。3月末ま  
で延長となりましたことを報告いたします。切れ  
目なく実施させていただき、今後も引き続き、周  
知に力を入れてまいりたいと考えております。

続きまして、6ページを御覧ください。

件名は、足立区災害時のトイレ確保管理計画の  
策定期間の延長についてでございます。

現在作成中の本計画でございますが、完成期間  
を令和8年度上半期まで延長させていただきたい  
と考えてございます。前回の委員会で様々な意見  
いただきました、項番3、新たに盛り込む内容を含  
め、策定を進めたいというふうに考えております。  
このため延期をさせていただきたいと思います。

具体的には8ページ、災害時トイレ空白地域にあ  
る約120の公園に8ページの調査表を一つずつ  
作成し、公園ごとに適したトイレを計画していく  
予定です。あわせて、設置、清掃、し尿処理など  
の管理も具体化してまいります。当初からこうい  
ったことが盛り込めず、延期となってしまった点  
につきまして、誠に申し訳ございませんでした。  
反省を踏まえ、更によりよい内容としてまいりた  
いと考えております。

続きまして、9ページを御覧ください。

件名は、災害用トイレ（自己処理トイレ）の試  
験導入の場所についてでございますが、運用に電  
力や水を必要としない自己処理型トイレを入谷2  
丁目の入谷鶴巻ゆうぐ公園に試験導入設置する  
ことについて報告するものでございます。災害時に  
電力、水が停止しても1,000回程度使用でき  
ることから、先ほどのトイレ計画の選択肢  
の一つとして位置づけて、10ページの項番3の  
とおり、地域に説明しながら、使い勝手、★★に  
ついての検証を進めてまいりたいと考えておりま  
す。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

続いて、11ページを御覧ください。

件名は、旧入谷南小学校跡地における災害拠点施設の整備スケジュールについてでございます。

災害用備蓄の保管の拠点、それから、災害時に国や他の自治体から支援物資を受け入れる拠点として計画しております本施設の建設を、当初令和11年と言っておりましたが、令和12年度以降に延期をさせていただきたい旨を報告するものでございます。今年度基本計画を今つくっている中で、項番2のとおり施設の機能を更に拡大する、拡充する必要が生じたことから、今回延期とさせていただきます。

また整備方法につきましても、項番3にある二つの方法が提示されましたので、今後は更に詳細な機能や契約方式の確定を行って、更に具体的な案をお示ししてまいりたいと考えております。

続きまして、12ページを御覧ください。

件名は、足立区ペット同行避難ガイドライン完成版の策定についてでございます。

既にパブリックコメントを実施いたしまして、委員の皆様からも様々な御意見いただいたところでございますが、そういった御意見を更に反映いたしまして、完成版といたしまして今回御報告するものでございます。今後は、本ガイドラインを活用いたしまして、避難所運営訓練などで実施していただくなど、避難所運営の皆様にも御理解いただき、周知に努めてまいりたいというふうに考えております。

続いて、14ページを御覧ください。

件名は、令和7年度江東5区広域避難シンポジウムの開催についてでございます。

江東5区で持ち回り開催しているこのシンポジウム、今年度は3月1日に足立区役所の庁舎ホールで開催したいと考えております。足立区は幹事区となっております。そういったものを報告するものでございます。皆様方には改めて御案内差し上げたいと考えております。

続きまして、16ページを御覧ください。

件名は、令和7年度災害用備蓄包括管理事業委託受託事業者の評価委員会の評価結果についてでございます。

今年度から委託を開始いたしました標記の委託事業につきましての評価結果の報告でございます。5点満点中3.7点という結果ですので、委託継続可との結果となりましたということを報告するものでございます。項番6には、評価委員の平均点を記載してございますので御確認ください。

なお、今年度は国や都からの災害物資の受入れという視点から、東京都の総合防災部の評価オブザーバーとして東京都の消防防災部に加わっていただきましたが、今後は、来年度以降は別の外部委員を入れて、今度はまた違った角度から様々な検証していきたいというふうに考えております。

続きまして、19ページを御覧ください。

件名は、北千住駅前・綾瀬駅等滞留者対策現地実動訓練及び協議会の実施結果についてでございます。

項番2のとおり北千住駅を中心に実施いたしました。21ページの方では綾瀬駅で今回初めて行ったということを報告しております。御確認いただきたいと思います。今後は、この会議で出ました課題や御意見を踏まえまして、2月10日に北千住と綾瀬地区で合同の協議会を実施してまいりたいと考えております。

続きまして、23ページを御覧ください。

件名は、令和7年度足立区総合防災訓練の実施結果についてでございます。

11月30日に本訓練を実施いたしました。項番2のとおりの実施結果となっております。今後、更に実効的な訓練実施に向けて検討を進め、これまで1日のうちに幾つもの訓練を実施してたのですけれども、やはりそれとちゃんとした評価、検証ができないだろうということで、これを年間複数回に分けて実施することなど、準備や評価を十

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

分に行える訓練等を来年度に向けて見直してまいりたいというふうに考えております。

続きまして、29ページを御覧ください。

件名は、令和7年度あだち防災リーダー勉強会の実施結果についてでございます。

区と各地域を防災の視点でつないでいただく、そういった役割のある防災リーダーの勉強会を12月19日実施いたしましたことを報告する内容です。実施内容は項番1に記載のとおりでございますが、今後、更に具体的な活動を行っていただけるよう、引き続き、区としても支援してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○水野あゆみ委員長 それでは、何か質疑ございませんか。

○佐々木まさひこ委員 それでは、私の方から2点ばかり質問をさせていただきます。

まず一つは、令和7年度消火器及び住宅火災警報器購入補助に係る実施期間の延長、これは3月31日まで延長していただくということで、これはももとの計画が3年間ですから、令和9年度まで、切れ目なくこの事業を実施していくという理解でよろしいでしょうか。

○災害対策課長 佐々木委員御発言のとおり、私も3年間続けていきたいというふうに考えております。

○佐々木まさひこ委員 この数字を見ると、令和8年3月31日までなのですが、12月にぱたっと申請数ちょっと落ちちゃってるのです。我々も非常に一生懸命、支援者の方、消火器のお店に連れてってあげましたので、興味のある方というか、買われる方はもうあらかた申請されちゃったのかなあということもあるのですけれども、セールスはしてないよ。来年度以降も事業を継続するのであれば、広報なども改めて打つとか、それから住宅火災警報器の設置できない高齢者の方のために1万円上乗せしてるではないですか。あれでちょ

っと分かりづらいので、そういったことも含めて、しっかりまた改めて広報していただければというふうに思いますけれども、いかがですか。

○災害対策課長 当初1月末までということで、皆さんお早めに制度を御利用いただいていたのかなというふうに思うのですけれども、まだ途中集計ではございますけれども、まだ1万件でございますので、まだまだ御利用いただけていないというふうに思っておりますので、これからも私ども力を入れて広報して、しっかり制度を使っていただくようにしていただきたいというふうに考えております。

○佐々木まさひこ委員 よろしく願いいたします。

あともう1点は、足立区の災害時トイレ確保管理計画の策定期間の延長、延長されることになりましたので、ちょっと改めて御質問をさせていただきたいというふうに思うのですが、このトイレ管理計画ですけれども、東京のトイレマスタープランに基づいて策定されています。私も東京都のトイレマスタープラン、読ませていただきましたけれども、まず第一義的に面的に、いわゆるトイレを250m以内、徒歩5分圏以内というふうに整備するというふうにされてるのですけれども、この面的に整備する意味、意義はどういったところにあるのでしょうか。

○防災戦略課長 東京都のトイレマスタープランを読み込みますと、災害時に自宅のトイレが使えないことによって、避難所に行かざるを得ない方が一定数いるといったような調査結果があるそうです。つまり、避難所に行かずに在宅避難を勧めるように、そういった面的な空白エリアを埋めていくようなスタンスを東京都のトイレマスタープランには記載されております。

○佐々木まさひこ委員 そういう意味合いもある、私当初は、この空白地域の解消というのは、特に超急性期、3日以内に水洗で利用できるトイレを整備するという意味合いなのかなあというふうに

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

思ってたのですけれども、やっぱり在宅避難の方が、本来在宅避難すべき方々が避難所に来なくても済むようにということなののですけれども、トイレは私も最近、夜中に1回は起きるようなっちゃったのですけれども、トイレを例えば250mも離れたところに夜中に行くかという話なののですけれども、トイレは身近なところないとトイレではない。トイレではないというか、トイレの役をしないというか、だから在宅避難を勧めるためには、例えば避難所に来た方にも、簡易トイレをそれなりの例えば1週間分とか差し上げるとかすれば、家が安全であればですよ。家が安全であれば在宅避難に戻っていただけるかなというふうに思うのですけれども、だから基本的には人のいるところ、そして、その人数に応じて人的に整備すべきではないの。だから避難所に、例えばもうある程度、発災4日、5日すれば仮設トイレが応援で来る、避難所に仮設トイレを避難所の人数に応じて整備すべきだし、例えば、どっかの公園で車中泊がたくさんいるとかとなれば、そこに整備すべき。面的なのは第二義的で、第一義的には、やっぱり人的に整備すべきではないかなというふうに思うのですけれども、そこら辺はどうでしょうか。

○防災戦略課長 災害時は、まず東京都のトイレマスタープランによりますと、先ほど申し上げた面的に用意することと、あと必要な量を用意することというのが、こちらが多分人的な用意の話になってくるかと思われます。

災害時は、佐々木委員おっしゃられたとおり、避難所に来た人に、在宅避難してる人でも物資が足りなくなれば避難所に取りに来ていただければ、避難所の物資を持って帰っていただけますよというふうにこちらからもアナウンスしておりますので、そのときに在宅でトイレが水が流れなくても、トイレで便袋が使えるような形で、いろいろ便袋もこれから備蓄等々を、また加速するというか、数を増やしていければなというふうに考えており

ます。

○佐々木まさひこ委員 ですから、アベノマスクではないけれども、いわゆる、それこそ本当にトイレをプッシュ型で、それぞれ区民の皆様にお配りするとか送付するみたいな、もう大胆な発想もいいのではないかなとは思っているのですけれども、そうすれば在宅をできる方はもうどんどん在宅勧めていただけるというふうに思いますし、あえてこう苦労しながら空白地域をそれぞれ職員の方が探し歩いて、適地を探してみたいな御苦労なさることもないかなあというふうに、どちらかというと、避難所に対してきちっとトイレは整備すべきだと、トイレ確保管理計画で、そのところはあんまりうたわれてないですよ。面的に整備するだけが表に出てきちゃってるので、そういったところも計画を組み直すのであれば、頑張っていただきたいというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○防災戦略課長 トイレ計画の策定期間を延長しまして、こちらの中にトイレの使い方ですとか、例えば避難所のトイレ、どうやって使うかというマニュアルも含めた内容にしていきたいと思っております。

例えば避難所のトイレですと、小学校に今もう便器というかトイレがありますので、そちらを便袋のオペレーションにするようなマニュアルも策定していきたいというふうに考えております。

○佐々木まさひこ委員 よろしく願いいたします。

それから、災害用トイレ、自己処理型トイレですね、これは我が党が視察などして、まずは試験導入していただくということで入谷鶴巻ゆうぐ公園に設置をしていただくということになりました。この公園、人がよく集まる公園なのですか。

○パークイノベーション推進課長 こちらの方、名前にあるとおり子どもたちが遊びやすいよう遊具も設置してありますので、日常的にも利用がある1日当たり50人から100人ぐらいの利用は見込めるかなと思っております。



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

○佐々木まさひこ委員 地元の議員に聞くと、あんまり利用されてないと聞くのですけれども、この文章には同程度の面積の公園では1日当たり50人から100人の利用があるのではという、それで推算してるのではないかなというふうに思ったのですけれども。あまり利用者がいないと試験導入にならないのですけれども、いいです。置くのですから、せいぜい利用していただくようお願いしたいというふうに思うのですが、このトイレは、1万回の、いわゆる回数の確保ができる自己処理型のトイレですので、これ1台当たり3,000万円と聞きましたけれども、それでよろしいですか。

○防災戦略課長 佐々木委員のおっしゃるとおりです。

○佐々木まさひこ委員 3,000万円で、これが非常に結果としてよければ、是非どんどん整備を進めていただきたいというふうに思います。し尿の回収とかそういうことをあまり頻繁にやらなくて済むわけですので、3,000万円で、例えば10台買えば3億円、100台買えば30億円ではないですか。大体ほぼ、第1次避難所に置けるわけですので、そういった大胆な考え方をさせていただいて進めていただきたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

○防災戦略課長 今年度、設置させていただく1台を試験運用しますので、その試験運用した結果、それが有効なものであるというふうに判定されれば、あとは将来的に東京都のトイレの補助金とか、そういったものを使えるかどうかも含めて、総合的に判断をしていきたいというふうに考えております。

○危機管理部長 すみません、ちょっと補足で、先ほど私説明の中で1,000回と言っちゃった、ごめんなさい、1万回の間違いです。桁を読み間違えてしまいました。ごめんなさい。この自己処理型トイレの回数、1万回のところ1,000回

と発言してしまいました。誠に申し訳ございません。訂正させていただきます。

○水野あゆみ委員長 他にございませんか。

○はたの昭彦委員 おはようございます。簡便に3点ばかり質問したいと思います。

まず、旧入谷南小学校跡地における災害拠点施設の件なのですけれども、先日の防災会議のときに、区長がこの拠点施設、整備については今のところ100億円ぐらいの規模、予算を予定してるというお話だったのだけれども、それで間違いないですか。

○防災戦略課長 今のところ、下見積りの段階でございます。入谷南の拠点施設の設備ですとか、構造、そういったものがまだ決まっておりませんので、今はもうざっくりと、学校と同程度の金額を想定しております。

○はたの昭彦委員 私は基本的には、確かに災害拠点ということで、避難所も一部★★されると入ってましたけれども、今は倉庫というか仕分施設ということで、何でそんなにお金が掛かるのかなというのは、今、ざっと学校というふうな話してましたけれども、最近学校も大型化をしていて、解体工事も含めての費用なので、実際どうなのかな。今の説明の中で、変更スケジュールが延びたということの理由としても、代替施設との機能整備とかという話があった、そこも含めてなのかなと思ったのですけれども、そういう理解でもよろしいでしょうか。

○防災戦略課長 はたの委員のおっしゃるとおりでございます。

○はたの昭彦委員 その上で、確かに災害代替施設ということでは重要かと思うのですけれども、要はこの区役所の8階にある防災センターの代替施設ということでの機能ということなのだろうけれども、この区役所の施設が使えなくなってしまうような想定というのが、なかなか考えづらいのだけれども、それは区としてはどういうときを想定

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

しているのかなというのは、まずお聞きしたいの  
ですけれども。

○防災戦略課長 区役所の防災センターですが、一  
応場所は浸水深より上にありますし、あとは震災  
のいわゆる震度7程度の地震があっても全然壊れ  
ないというふうな状況になってますが、例えば震  
災で想定を超えるような地震があったとき、想定  
にないような停電が起こったとき、長期的な停電  
が起こったとき等々を考えて、BCP上代替施設  
の指定が必要であろうというふうに今はなってお  
ります。

○はたの昭彦委員 ちょっと想定しづらいなという  
のが本音ですね。長期的な停電ということでは  
、区庁舎が3日間、72時間停電した場合でも  
自家発電で動かせるという話ですとか、あと区庁  
舎ということでは、一番震災対策が進んでる  
というふうに災害時の拠点として機能するわけ  
ですから、それよりも機能的に果たせる、災害に強  
いような災害拠点施設というのは、よっぽど頑丈  
な建物で、浸水深以上の建物を建てなきゃいけ  
ないというようなことが本当に現実あるのかなと。

確かに、バックアップ施設ということでは大事  
だと思うのですが、下見積りの段階だとい  
うことなので、本当に100億円掛かるかどうか  
というのは今後、検討していく中ではっきりし  
てくと思うのですが、やはり最小の経費で  
最大の効果を得ることが、自治体として果  
たされる役割ですので、それは十分考慮した上で  
計画を進めていっていただきたいのですが、ど  
うでしょうか。

○副区長 国の防災会議の中でも、やはりそうい  
った拠点は、リスク分散のために複数ある方がいい  
という考え方があります。庁舎は壊れると  
いうことはほとんどないのですが、インフ  
ラの方がかえって危ない可能性もあります。例  
えば上下水道は、今東京都の防災計画の中では4  
0%ぐらいはインフラは壊れるだろうというふう

なことも言われてます。そういった意味で、ここ  
が建物は大丈夫でも、それに付随するようなもの  
がもし麻痺したときには、ほかのところが必要と  
いう考え方の下で、入谷は水害にも強いですから、  
そちらの方に確保していきたいというのが、考え  
方でございます。

○はたの昭彦委員 バックアップ施設は別に否定し  
てませんので、要は本当に100億円なんて大き  
なお金が掛かるのかなというのが防災会議で区長  
が発言したものですから。本当なのかなというよ  
うなことで、ちょっと質問させていただきました。

次に、江東5区の広域避難シンポジウムの開催  
についてということで、災害に対応してというこ  
とで想定をしてというのは、シンポジウムやって  
区民の皆さんに、日頃からの備えをしていただく  
というのは大事だと思うのですが、ただこの  
広域避難について、先ほどの説明では、江東5  
区の中で持ち回りで今回足立区だという話だった  
のですが、ただこれも広域避難については、  
台風19号でしたっけ、のときに現実的ではない  
ということで、足立区としては広域避難や垂直避  
難をということで、この間、対策を進めてきたわ  
けなのですが、現在のこの広域避難に対す  
る足立区のスタンスというのは、どこにあるのか  
なのというのがお聞きしたいのですが、どう  
でしょうか。

○防災戦略課長 まず、足立区としては、水害が発  
生するときは、まず自宅の安全を確認していただ  
いて、安全が確認できれば在宅避難、若しくは縁  
故避難を推奨させていただいております。この縁  
故避難というのは、親戚の方、友人、若しくはホ  
テル等々に、広域的に避難も今のところは縁故避  
難という言葉で推奨させていただいております。

○災害対策課長 広域避難についての考え方という  
ことでございますので、これ東京都の方が今広域  
避難先を、様々場所を避難所を選定しております。  
それに伴って、区としても協定を結んでやってる

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

という形でございますので、この江東5区の方で協議会を持っておりますので、いざ台風が来て、江東5区として広域避難が必要だということでトリガーが引かれれば、我々もそれに従って広域避難の方は対応するという考え方でございます。

○はたの昭彦委員 ただ先ほど最初に申し上げたように、台風19号のときに計画運休とか、やっぱりその災害も年々大きくなっている中で、東京圏や首都圏だけでなく、大型台風と言えば、日本の半分ぐらいが大きな被害を受けるような事態も今後、想定されるわけですよ。そういった中でも広域避難ということでの考え方というのは、やっぱりどういうふうに考えたらいいいのかなというふうなことがあると思うのです。だからこそ自宅避難できるような垂直避難とか、そういう建物に対して区が支援して、災害物資を備蓄するとか、そういう支援体制を整えてきたわけですから、だからそういう中で、江東5区の広域施策の中で足立区として、どういうスタンスで対応してください、東京都がそういう方針で5区がそういうこと例えば、足立区としてもと言っていたのだけれども、でも足立区としてはこういう問題点抱えてるのだよ、こういうふうに思ってるのだよということは、ここの江東5区の中で発言とかはされていってるのでしょうか。

○副区長 広域避難については、従来から江東5区の中でやっていこうという考え方なのですけども、足立区は分散避難を今、基本は考えてます。

分散避難の一番最初取るのが、縁故等避難で遠いところに避難しましょう、3日ぐらい前とかです、その次に、避難所ですとか、あるいは状況によっては垂直避難というような選択肢の中の一つ最初に行うのが、広域避難、縁故等避難という整理がありますので、特に地震のときはできませんけれども、水害で930hpa以下の台風が来たときには非常に危険ですので、3日前ぐらいから広域避難を推奨していくというような考え方で

今、ほかの自治体とも協定を結んだりというところが私どもの考え方です。

○はたの昭彦委員 区民にしてみれば、広域避難なのか垂直避難なのか、自宅待機なのかというのが非常に分かりにくい部分もありますので、今工藤副区長がおっしゃったようなことをやっぱり区民の方に分かりやすく説明できるような体制を取っていただきたいなというふうに思います。

それと、総合防災訓練についてなのですけども、今後の方針としては、1日で実施するのではなく、訓練ごと日を分けるなど、実施方法の見直しを行って、評価をできるようなという話だったのですが、これ1日でやる総合防災訓練というのは、もう今後やらないという理解でいいのでしょうか。

○災害対応力強化担当課長 これまで1日でイベント等と合わせて実施していたところ、令和6年、7年と訓練に特化させてということで実施をいたしました。今後なのですけども、1日で実施してしまうことで、やはり評価等の体制について問題が見られましたので、今後は日を分散させてという方針で、当分はやっていきたいと考えております。

○はたの昭彦委員 防災訓練は別に評価をするために訓練するのではなくて、災害時にどう対応できるかということで訓練するわけですよね、分散というか、1日でということという、災害時というのは、災害時に参集できない職員もいるわけですから、非常にこの数、マン的パワーが少ない状況の中でどう対応していけるのかということもやっぱり考えていかなきゃいけないという。そうすると1日でやると、この各職場が分散をして対応する、少ない人数で対応していくということはあると思うのだけれども。1日ではなくて別の日に部門ごとでやるとなると、十分な人員体制が取れるわけですよ。そういう中で訓練をする必要性というのはどこにあるのかなと。



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

確かに全員が給水の対応なんかでは、一部の人でなくて誰が来るか分からないから、全員がというのはあるのだけれども、そういう訓練とは別にやっぱり1日で、全体で動かしていく訓練というのはなくすべきではないと思うのですけれども、それについていかがでしょうか。

○災害対応力強化担当課長 はたの委員おっしゃるとおり、少人数で対応する初動対応の訓練等、非常に重要だと考えております。各部が年に二、三回、この総合防災訓練とは別に、訓練を実施しております。そういった中で、少人数で実施するような訓練も行っていきたいと考えております。

○危機管理部長 はたの委員がおっしゃることも一理あるというか、理解するところあります。私も、やっぱりこの訓練をより実践的にしていくためにどうしたらいいのかというところは、今、はたの委員おっしゃったとおり全員が出席できるわけではない、職員が集まれるわけではないという前提で、これはやらなきゃいけないと思ってます。それを1日でやるから各部の、例えば半分の人数が集まってやるのではなく、日を分けたとしても半分程度、あるいは4割とか、そういう職員しか集まらないという条件でやらせていただきたいと思います。ただ、それを1日でやってしまうと、我々、危機管理部の職員も、全然現場見てないし、ほかの評価者も全部のところを回り切れないという課題があるので、そこをできる限り体験することにも必要なのですけれども、それを反省点を、では次回どうしようかということでの反省点を見付けるという作業も、やっぱり重要かと思うので、そこを分けさせていただきたいという考えでございます。

○はたの昭彦委員 別に何ていうのかな、別々にやるということは否定しないのだけれども、1日で全体でやる中で、各部の連携だとかということもやっぱり出てくるわけですね。だから、具体的に1日でやる訓練の前段階として、各部がどうい

う動きをしていくのかということで、別々にやって総合防災訓練で改めて全体の流れだとか、連携体制どうだったのかということも、やっぱり見るのも大事だと思うのですね。そういう意味では、なくすのではなくて、より実践的にやれるような訓練方法を、私は1日で別々にやるというのがより実践的になるとはちょっと思えないので、今後も考えていっていただきたいなというふうに思います。

最後に、ペットの同行ガイドライン、新しく完成したと、同行ガイドラインではないのですけれども、今度2月10日に、商社だったかな、使って、災害時のペットの映画会をやるというのがあだち広報に出ておまして、昨日議渡会のときに、足立保健所長にどこでやるのですかと聞いたら、衛生部とあとNPO団体でということだったのだけれども、その内容は、震災時のペットがどういふふうになってしまうのかというようなことで、非常にペットを飼ってる人にとってみれば、自分が災害時にその準備をしとかなないと、自分がかわいがっているペットがこういうことになっちゃうんだよということでの啓蒙活動に、すごくいい話かなという映画なのです。そういう意味では、衛生部とかだけに任せるのではなくて、やっぱり危機管理部として、是非こういう取組が区としてやってるのだということを宣伝する中で、ペットを飼ってる方への災害対策としての啓蒙として、是非活用していただきたいなと思うのですけれども、最後どうでしょうか。

○防災戦略課長 災害時のペットに関する事項に関しては、すみません、チラシを付けさせていただきましたが、こちらも衛生部の方と連携してやらせていただいておりますので、そういった映画等々も今後また衛生部と連携しながら、PRとかできればなというふうに考えております。

○伊藤のぶゆき委員 ちょっと駅前滞留者の件で何点かお聞きしたいのですけれども。

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

確認なのですけれども、綾瀬の方、多分初めてやったと思うのですけれども、北千住に比べて団体数が少ないので今回参加人数が少なかったということですが、これ団体というのはどういった団体を示しているのかということと、改めて再確認ですけれども、駅前滞留者というのが起きるときは、どういったときを想定して区は駅前滞留者対策というのを考えてあります。この2点をまずお聞きしたいのですが。

○災害対策課長 まず、協議会のどういった方がといるところですが、当然、駅の事業者ですとか、あと駅前の関係の商店街の関係であったりですとか、あとは公的なものでいえば武道館とか都立の★★、その辺りが一時滞在施設になるので、そういったところも会員になっているといったところ。あとはもう駅に関連するところの事業者さんが幾つか含まれている、そういったような状況です。

あと駅前滞留がどういった状況で発生するのを想定しているかというところですが、やっぱり震災とかで、公共交通機関などが止まったりとか、あとは動くのだけれども、例えば北千住までしか来ないでそこで降ろされちゃうとか、綾瀬まで来て、そこで降ろされちゃうとかいって、そこで人があふれてしまう、そういったようなところの状況を想定してとてでございます。

○伊藤のぶゆき委員 それでは別に町会・自治会の人たちが入ってるわけではないということですね。駅員も入ってる。それなら、大体、聞くことはないので、そうすると区の職員も当然入ってるのですけれども、綾瀬駅で1万人も滞留者が出るということなのですね。分かりました。

そうしたときに、地域の団体の人が入っていないということは、駅前でこういうふうに施設がありますよということで、駅員たちが誘導してくれるわけですね。流れ的には、分かりました。ではあまり聞くことはないです。

ただ1点だけ、聞いてて思ったのですけれども、自己処理型のトイレを入谷南に置くという話になったのではないですか。入谷の公園に置くという話になったのではないですか。人数的にこれぐらいの利用があるという話だったのですけれども、駅前滞留者の話がここにあるのだったら、北千住に置くというのも何ですけれども、東綾瀬公園に置くのが一番いいのではないのかなと思ったのですけれども、これについて、要は東綾瀬公園に置けば、多分、ふだんから利用されてる方も多い、多分パンパンになるのが早くなっちゃうから嫌なのかなと思いますけれども、もし万が一、この災害が起きたあさって、しあさって起きてしまった場合に、東綾瀬公園にあれば駅前に滞留者がいても、今、区の準備がこれから始まったばかりだから、すぐに何もかもということは無理かもしれないのですけれども、少なくとも1万回のトイレは東綾瀬公園にあるということになると、そこに置くのが一番何か合理的な気が、今決めましたと言った後に変えてくださいというのはなかなか心苦しいのですけれども、何かこれを見ると、点と点が、そっちに置いた方が線になるのではないかなと思うのですけれども、それについてはどうなのですか。

○防災戦略課長 まず、自己処理型足立地区の第1号をこれから設置させていただくわけですが、その設置させていただく場所の選定については一つの条件として、トイレ空白エリアを選定しようということの一つ考えましたので、一応東綾瀬公園ですと、一部は空白エリアもあるはあるのですけれども、例えば、マンホールトイレ等々も東綾瀬公園にあたりしますので、一応今回は空白エリアである入谷鶴巻をまずは選定させていただいております。

○伊藤のぶゆき委員 最後にします。

空白エリアから付けるという話だったので、これについてはしょうがないと思います。ただ今後、何かするときに、やっぱりこの一つ一つの政策が

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

あるではないですか。私もこれ一つ一つ見てると、これについてどうなのかな、これについてどうなのかなと考えがちなのですけれども。よくよく考えてみたら、災害対策として一つのパッケージになってきたときに、そういった何か横のつながり、行政が一番苦手な横のつながりかもしれませんけれども、何かそれもあれば、もちろん災害エリア空白地域に置くのが、災害が起きたときに入谷の方で役に立つのかなと思うのですけれども、そういったことも今後、考えていただければ、駅前滞留でここに置けば、その分1万回分の人たちがいてもいいのかなと思いました。これはあくまで要望で構いませんので、よろしくお願いいたします。

○さの智恵子委員 私の方からも、2点質問させていただきます。

今何人かの委員からございました、この自己処理型トイレでございますが、1万回使うということで、その設置条件についても6点にわたって、詳細に御記入もしていただいております。

こちらの方の今後の予定で、今年4月から試験運用開始とともに利用検証というふうにございますが、この利用検証の具体的な内容についてお聞かせください。

○防災戦略課長 そもそも、物質的という言い方よくないですね、トイレの頑丈さですとか、あとは使用頻度に対する、要は維持管理費用等々を検証していきたいと思っております。それと足立花火大会とか、大きいイベントに、そこに持ち込んで、啓発をしたときの利用の頻度、あとは維持管理の頻度等々も総合的に検証していきたいというふうに考えております。

○さの智恵子委員 分かりました。

せっかく設置をしてくださるので、こちらは例えば試験実験をしておりますみたいな、積極的なプラカードではないですけれども、表示もしていただいて、積極的に使ってもらおうということも大事かなというふうに思っております。

子どもたちが多く先ほどのということもございましたし、利用してどうかということもあるのですけれども、本来であれば、簡単なアンケートではないですけれども、使ってみてよかったとか、何かこう、シールでも何でもいいのですけれども、使ったときにその場で感想が伝えられるようなもの、本当に簡易なもので結構ですので、そういうのを置きながら、できればこちら入谷鶴巻ゆうぐ公園でございますので、地域の方も楽しみながら利用してもらって、そういう声が地域に波動することも大変大事かなというふうに思いますので、4月からの導入ですので、その辺の検討も是非お願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○防災戦略課長 まず、トイレの壁とかに自己処理型トイレの仕組みとか、そういうポスターを掲示すること等々、あと利用者の声が拾えるような工夫等々も考えていきたいというふうに考えております。

○さの智恵子委員 是非お願いしたいと思います。

先ほど大型イベントのこともお聞きしようと思ったら、花火大会という声もございましたので、花火大会も本当に多くの方が御利用になりますので、そこでも是非同じようなプラカード等、分かりやすい掲示もお願いしたいと思います。

そしてもう1点、この防災リーダーの勉強会の実施結果ということでの御報告もいただいております。こちらなのですが、29ページの方に、12月19日ですね。この開催日時が12月19日で開催したとございますが、ちょっと曜日等を考えますと、12月の平日の金曜日ということで、大変お忙しい中でもあって、30代、40代とか、現役世代の方の欠席も多かったなと思うのですが、こちらは年何回ぐらい、今後は開催の予定でしょうか。

○防災戦略課長 こちらのリーダー勉強会につきましては、年1回やっていきたいと考えております。

それと定期的に年1回、リーダーの更新講習会、

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

あとそれと新規入会があれば、入会の際の講習会等々をまた定期的に進めていければなというふうに考えております。

○さの智恵子委員 せっかく年1回ですので、できればこの参加者の声も聞きながら、土日がいとか、やっぱり参加しやすい日時の工夫も大事かなと思いますので、今後お願いしたいと思います。

またリーダーの意見ということでは、30ページに記載ございますが、前向きな御意見等もあったかと思しますので、しっかりまた区が伴走支援しながら推進をお願いしたいと思うのですが、こちらの内容のオにありますが活動計画の策定ということでも記載ございますが、こちらは今後どのようにしていくかというのは、具体的な話はあったのでしょうか。

○防災戦略課長 例えば活動計画の中に、30ページの③で書かさせていただきますとおり、自分の所属している町会・自治会で、自分が考える訓練をやってみたいという方がいらっしゃいました。この方は、自分の自治会から、そこから応急給水所までみんなで歩いてみて、この場所で水が取れるのだよというのを、自治会・町会で確認するというをやってみたいというふうにおっしゃっております。

○さの智恵子委員 そうすると、この活動計画策定というのは個々に立てていくというのを、区が支援しながらやっていくということで、この29人がそれぞれのペースで立てていくということでしょうか。

○防災戦略課長 さの委員のおっしゃるとおりでございます。

○さの智恵子委員 分かりました。

前回の11月にも御報告がございまして、その際も、町会・自治会だけではなく、様々な場所というお声もございましたので、それぞれが活動しやすい体制をお願いしたいと思います。

11月の報告でございました地域から多様な世

代の人材の発掘という項目もございましたが、今、令和8年度の活動を見据える中で、どのような検討がされてるかというのを最後にお聞きをしたいと思います。

○防災戦略課長 今リーダーで所属されている方の中から若い方とかの紹介もあったところがありますので、そういった方々にこちらから連絡させていただいて、またリーダーの新規募集があるときには、こちらから連絡させていただきますというようにやり取りはさせていただいております。

○さの智恵子委員 分かりました。

今後もしっかり区として、例えばA-Festとか様々な機会を捉えて、こういう方たちを募集しているというそういう周知・啓発なども積極的な本当にさせていただきながら、若い方も含めた拡充が大事なと思いますので、今後とも是非よろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○加地まさお委員 おはようございます。よろしくお願ひします。私も何点か伺わさせていただきます。

まず足立区の防災、トイレ計画、これ皆さんの質問を聞かせていただいて、おおむね分かったのですが、このマクロな視点で、まずはポイントが分かっている、空白地点に実験的にトイレを置くというのは分かったのですが、トイレの設備、場所、ポイントはできて、ここから、前回もお話しさせていただいたのですが、ミクロな視点が必要になってくると思ってます。

その中で、実際この清掃、汚物処理、あと動線、夜間の安全含めてがミクロな視点だと、実際に起きたときの想定だと思うのですが、まず今現時点で、トイレの清掃は管理業者さんをお願いしてると思うのですが、その点は有事の際というのはどういうふうになってるのかお聞かせください。

○副区長 まず、今加地委員からおっしゃられたト



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

イレについては、設置はしますが、実は維持管理のところまで誰がやるかというのは決まってないです。それを、今年の夏ぐらいまでに整理をして、また報告をしたいという段階です。

それとこの自己完結型についても、当然、状況の把握ですとか維持管理どうなってるか必要ですので、それは今回1基設置してみて、それでどういことが必要なのか、どういう人材が必要なのかということを検証していきたいと思っています。

○加地まさなお委員 ありがとうございます。実際やってみないと分からないということはあると思うので、是非まずは試してみてというのはお願いしたいと思います。

その中で、今の管理の場所は、実際には誰がやるかまだ決まっていないと。自己処理型トイレ、これはちょっと普通のトイレと違うと思うのです。普通の業者さん、例えば今まで清掃やってる方、業者さんに急に来てほしいなというときでも来てもらえないと思うのですね。専門の業者さんしか来られないと思うのです。その点というのは大丈夫なのでしょうか。実際に何かトラブルが起きたときに、有事の際に、専門業者さんに来ていただけるのか伺います。

○防災戦略課長 有事のときに必要となるのが、こちらくみ取りが必要になりますので、1回たまってしまうと4立米のし尿がたまりますので、それを取って、また新たな薬液を注入するという手順が必要になりますので、そちらにつきましてはマニュアルをこれから策定していきたいと考えておりますので、その中にその内容等を盛り込んでいければというふうに考えております。

○加地まさなお委員 分かりました。

マニュアルがあれば、例えばこの自己処理型トイレを専門業者さんでなくても処理ができるということによろしいでしょうか。

○防災戦略課長 し尿の処理につきましては、専門の業者さんにお越しいただくことが今のところは

必要になってるかなというふうに認識をしております。

○加地まさなお委員 ですね。ということは、実際使用して有事の際にトラブルが起きたときは、その業者さんに来てもらわなきゃいけないということで間違いないでしょうか。

○防災戦略課長 はい。発災時にそういったし尿の処理等々がありましたら、協定を結んでおります業者、いわゆるバキュームカーを所有している業者さんに来ていただくということになっております。

○加地まさなお委員 すみません。ちょっと私が勘違いしてるかもしれないのですが、この処理の仕方は、普通のバキューム業者さんでできるということですか。このトイレは特別なものだと思ってるので、これを造っている会社さんがやらなきゃいけないのかなと思ってしまったので、それは大丈夫だという認識でよろしいでしょうか。

○防災戦略課長 一般的なし尿として、処理ができるということになっております。

○加地まさなお委員 ありがとうございます。やっぱりそこを含めてでないと、実際何かあったときに対応できないと思います。

先ほども言わせていただいたように、この処理の仕方が、ここがポイントだと思っていて、前回能登の方のトイレの写真でも、結局汚れているから使えなくなってしまったというところで、せっかく足立区トイレ課あるではないですか。足立区は準備ができてるのですが、実際やってもらうのは、多分、町会・自治会の方だと思うのですね。区の職員さんが行けないと思うので、そのときに今防災リーダーの話も飛びますが、防災リーダーせっかくつくるではないですか。ということは、誰がこの範囲のエリアのトイレを掃除するかということを決めておかないと、使えるトイレが確保できない。これすごく重要だと思うのですが、その点はというふうに考えているかお聞かせくだ



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

さい。

○防災戦略課長 災害時に設置されるトイレを誰がどうやって維持管理していくのかというのが、今、大きい課題としてまだ残ってます。その点につきましては、これからマニュアルを整備する中で、一つ一つ潰していければなというふうに考えております。また防災リーダーの活用も、その中で、もし、もしできるのであれば、やっていただけるマニュアル等々もいろいろ検討する必要があるかというふうに感じております。

○加地まさなお委員 ありがとうございます。是非防災リーダーの中にも、それトイレ啓発というのですかね、町会・自治会の方に、もうこのトイレは多分清掃しないと使用できなくなってしまうのですよと。なので、できればその地域の方に、トイレリーダーでないですけれども、トイレリーダーというところとちょっと言い方あまりよろしくないかもしれませんが、という形でお願いをしていくということも、防災リーダーの役割として追加していった方がいいのではないかなと思うのですが、いかがでしょうか。

○副区長 前もお話ししましたがけれども、能登のときに、熱心に自分たちで運営している避難所のところに10基仮設トイレ来たとき、結局に2基しか使えなかった。そんなにたくさんの人材はやっぱりいないと思うんですね。ですから、地元をお願いするのにもやっぱり最小限のことはお願いをするしかないのかなと。防災リーダーも活用するというのはもちろんです。その上で、やっぱりどうしても簡易トイレ、便袋を使ったトイレを皆さん処理していきますよということを推奨しないと、そこにトイレがあるからといってみんな集まると、とてもそれは運営できません、維持管理できませんので、やっぱり併せて自分たちできちっと自分のものは自分で処理するというようなこともやっていかなきゃいけないなというふうに思ってます。

○加地まさなお委員 分かりました。それは本当に

そのとおりだと思うのですが、やはり使用できなく、災害時の写真を見てもらえれば、これ使えなくなっちゃうなど、直観で感じると思うんですね。ときに、自治会・町会が機能してるところはいいのですが、やっぱり参加する方が少ないところなんかは、やりたくないと思うと思うので、事前にこういうことがあるのですということだけでも頭の中に入っていれば対応できると思います。

それと同時に今、副区長おっしゃってくださって、先ほど佐々木委員がおっしゃってましたが、実際行って簡易トイレ、実際持って帰ってもらうとかという準備を、在宅避難を考えているのなら、ちょっと予算掛かるかもしれませんが、準備はしといた方がいいと思うので、その辺は要望させていただきます。

次なのですが、この災害時の拠点ですね、見直しをするということは、これからよくするというでいいと思うのですが、実際、機能整備が必要ということで、新たに計画を練り直すということなのですが、具体的にどういったことが足りないから見直しているのかというのが、簡単に分かりやすく教えていただければと思います。

○防災戦略課長 資料に記載させていただいてますとおりに、災害対策本部、こちらの本庁舎が仮に使えなくなった場合の代替機能、最低限の機能を載せていきたいというふうに考えております。

また、あちらで要は、周辺のインフラが潰れてたとしても、平時どおり倉庫が運用できるように設備等々をこれから検証をしていきたいというふうに考えております。

○加地まさなお委員 ありがとうございます。あくまで代替場所というのでよろしいのですか。でもそれ同等の設備も付けるよということですか。

○防災戦略課長 恐らく、今のところは災害対策本部に設置するような大きいモニターですとか、あいったものの全部を同じものを設置するということは考えておらず、同じような機能が果たせるよ

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

うな最低限の設備を考えていきたいというふうに考えております。

- 加地まさなお委員 それ代替になるのですか。
- 防災戦略課長 例えば100インチのモニターでなくて、40インチでいいのではないとか、そういったような最低限で使えるような縮小したものを考えていきたいというふうに考えております。
- 加地まさなお委員 予算はあんまり掛けない方がいいというのは、私は思ってるのですが、代替するのだったら、最低限必要なものというのには、決して予算を削らずにちゃんと機能できるようにしていただきたいと思います。要望させていただきます。

次に、防災訓練と、この滞留避難もそうなのですが、実際、職員さんも来られるか分からない状態というのは想定されているというのが分かりました。ただその少ない人数でも、ある意味何か理想的な、100%を想定して動けてるという感じで、基本的に訓練をやられてしまうと思うのですね。そういう、そんなことないですか。分かりました。

基本的には人数で足りてないと、基本的には評価がちゃんとできてるという状態にするということになってると思うので、できない点のが多く実際になると思ってるのですが、そういった観点で、この訓練がされているのかお聞かせください。

- 災害対応力強化担当課長 今年度の訓練方針を御覧になっていただいても分かるとおり、必要最低人数ということを把握するために今回は実施をしております、マンパワーが少ないときにも対処できるようにというのは常に考えております。
- 副区長 まず、誰でもできるようにするために、各部の訓練を年に2回程度行ってます。それは全員できるように。総合防災訓練ですとか、ほかの訓練については、例えば震災のときには40%ぐらいしか48時間に集まらないということを想定して訓練してます。それに加えて、長期間にわた

る場合には交代要員が必要ですので、どんな頑張っても5割、そういうことを想定して訓練を実施していると、これからもしていくということです。

- 加地まさなお委員 ありがとうございます。正にそこを聞きたくて、やっぱり人間はもう疲れて、最初の何日間は多分、何かもう、いつもと違うときなので、アドレナリンではないですけども、エネルギーがあって活動できると思うのですが、やっぱり疲れてしまっただけで判断を誤るという前提で考えていただきたいと思っているので、それ多分、今そうだというふうに認識しましたので、よろしく願いいたします。

それと同時に、全体的にさっきの倉庫もそうですが、防災システム、連絡をツールというのが、実際はもう全部スマホとかそういう通信機器だと思うのですね。それが止まってしまった瞬間に連絡が取れなくなってしまうというのが、多分全てが機能停止するということだと思うのです。それはこういった形で実際に通信が途絶えてしまったときとか、こういった連絡網があるのかというのは、スターリンク等があると思うのですが、お聞かせください。

- 防災戦略課長 当然、入谷の新拠点施設には、電力と通信が途絶えないようにという形で、いろいろ検討していきたいと思います。今、災害時にも絶対とは言いきるのはいくつかないかもしれませんが、いわゆる衛星ですね、スターリンク、あとは何かソフトバンクも、最近、すみません。横文字を忘れてしまいましたが、HAPS等々が開発されてきたというような現状でございます。
- 災害対策課長 ちょっと補足させてください。

今現状あるものということであれば、いわゆる無線がございます。これは足立区の自営の通信網、いわゆる、足立区の中で完結しているもので、いわゆる従来のキャリアとかのインフラには依存しないものですので、基本的にはそれが我々の、携帯とか使えなかった場合にはそれが使える

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

といったもの。あとはもう一つ、地域BWAのインターネットの通信網があります。これも通常のものよりはもう使えるだろうということですが、若干出力が弱かったりとか、そういった弱点もあるにはありますけれども、複数そういったものを用意しているといった状況でございます。

○加地まさなお委員 ありがとうございます。3段階ぐらいは使えなくなったときの想定がされているということで認識合っていますでしょうか。分かりました。

それだけでも、今例えば、足立の中の無線で連絡が取れると思うのですが、基本的にやっぱり今もう皆さんスマホだったり、実際、さわって皆さん連絡取ってると思うんですね。さっきのHAPSというのは、契約されているということで、使えるということでよろしいでしょうか。

○都市建設課長 まだ区としては契約しておりません。今ソフトバンクとかが実証段階かと思います。

○加地まさなお委員 分かりました。それも是非調べていただいて、実際必要だったら契約も考えていただきたいというふうに思います。

と同時にスターリンクが、実際は、どれぐらい必要なのかというのは分かってなくて、何基必要なのだとか、そういうのがあると思うので、その点も踏まえてやっぱり1段階、2段階、3段階ぐらいで、最後が、無線がどの優先順位なのか分かりませんが、皆さんが目で見えて、すぐに全体で連絡がぱっと行く、無線でそれが何かできるのかなと、何となく無線は声だけのイメージがあるので、やっぱり見て全体共有と自分が何をやるタスクというのが分かるというのは、画面を見ながらということになると思うので、その点も踏まえて、通信網しっかりと確保していただきたいと思います。要望させていただきます。

以上です。

○鹿浜昭委員 私から何点かお聞きします。

まず4ページの消火器の件なのですが、

目標が足立区7割をこの消火器設置率を定めているのかなというふうに思うのですが、現在の足立区の設置率は何%ですか。

○災害対策課長 こちら記載★★実は足立区単独のものはなかなか数字持ってなくて、なかなか苦しいところであるのですが、足立区独自のものとしては持ってないというのが御回答になります。

○鹿浜昭委員 多分持ってないなと思って、アンケートでも今まで取ったことなかったなというふうに思うのですよね。目標値を決めるからには、当然、今の現状というのを理解しないと、ひょっとしたら7割いってるかもしれないし、分からないけれども、でもいってるわけないのだけれども、でも、やっぱり現状を把握して、それで目標値を決めて、それでいつまでというのを、そういう順番をしっかりと決めてやっていくというのが大切なかなというふうに思うのですよね。

やっぱり足立区23区で一番火災率が多いということで、本当に消火器の大切さというのは十分私も認識してますし、まだまだ設置がどこまでというのが心配してる場所なのですが、今そういった意味で、こういう補助を出して、約4,300件いってますけれども、やはり私も前にも話したかと思うのですが、購入してもらって補助金を出すというのではなくて、是非今こういう状況で、やっぱり各世帯、3.5万世帯ですか、足立があるかと思うのですが、7割というと2.4万5,000世帯ぐらいのあれなので、一遍にというのはちょっと難しいかと思うのですが、是非支給というか、配布というか、やっぱり買ってもらおうというよりも本当にない人を是非そういう形で申請するなり何なりして、簡素化して、もう配給というか、そういうような方向性を是非考えていただきたいのですが、その辺は、今12月は59件なのです。極端に減ってきてるので。やっぱり、逆に言えば、そのときは

- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

12月というのは、どの町会・自治会も火の用心をやっている時期で、すごく何かこう意識は持っているのかなというふうに思うのですよ。ですけれども、こんな数だったということで、これいつまで掛かるかちょっと分からないような状況下にあるのかなというふうに思うのですけれども、その辺どう考えてどう進めていくか、ちょっと教えてください。

○災害対策課長 できるだけ区民の皆様がお手間がないようにというのは、鹿浜委員御発言のとおりだと思います。私ども今回行った中で、この補助制度を組み立てさせていただきまして、一々申請の煩わしい手間がないように、店頭に出向いていただくだけで、そこで完結するようにという形での方式でやらせていただいております。

資料の方がちょっと間に合っていない、12月26日で59件です。その後、審査の方が進んでおりまして、今800件ぐらいまで12月のものは数としては伸びているというのが★★ではございます。当面やっぱり3年間という形で打ち出させていただいておりますので、こういう形で進めさせていただきたいとは思いますが、鹿浜委員御発言ありましたように、実際にどれぐらい御購入いただいて設置率が伸びたのかというの確認は多分必要だと思いますし、そこでなかなか伸びてこないということであれば、鹿浜委員御提案の配ってみるかというのも一つの案だというふうに思いますし、そこはまた次の手として、様々検討させていただければというふうに思います。

○鹿浜昭委員 是非、大量購入すれば、金額も消火器なんてのは多分半減するのではない、半額ぐらいで買えちゃうのではないかなと。これは分かりませんが、何かそんなことも思うのですよね。ですから、そうするとすごく費用的にも大分助かるかと思うので、そういう方向で是非やれば、何か早く設置の方でもできるし、やっぱり防災意識というか防火の意識を高まっていくのかなというふう

に思うのです。

ちなみに、私も町会の防災の担当をやっているで、火の用心を年末にやったのですけれども、あれは日本だけの独特の文化だということで、明治時代から続いているということでそういった意味ですごくいいことはいいことで、ずっと継続していきたいなというふうに思うのですけれども、やっぱりそうやって区民全体、日本人全体が、そういう意識を高めていくためにどうしたらいいかということも含めて、是非その辺も進めていっていただければありがたいなと思います。

それと、6ページのトイレの件なのですけれども、120か所、今足りないということで進めていただいているかとは思いますが、危機管理部はそうなのなのですが、平成27年6月にパークイノベーションで、400mから500mに公園1か所にトイレを設置するというで、今、区内にある330か所のトイレを200か所に減らすというのを、ちょうど前々回の私たちの選挙の頃に、ある党の方が一生懸命その辺を訴えてやってたときがありまして、それは恐らくその方向性でパークイノベーション課進んでるような感じもするのですよね。ちょっと何かこう矛盾するようなことを感じるのだけれども、その辺どうなのですか。

○パークイノベーション推進課長 災害用のトイレというか、一般的な公園トイレの数として、いわゆるパークイノベーションの考え方としましては、これが300個全部、時期が来れば改修しなきゃいけないというところもありまして、その数は、今後の維持管理とかそちらの費用として賄い切れないだろうということもありまして、配置の計画を再度見直したりして、鹿浜委員おっしゃったように200個ぐらいに減らせればという計画を立てております。その計画自体は、今のところ残っております。それで、利用状況とかそういったところを検討しながら、公園の改修のときには、



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

減らせるところの施設に関しては減らすという考えは今も持ってる状況でございます。

○災害対策課長 公園のトイレの考え方は、今パークイノベーション課長が申し上げたとおりです。

一方、災害用トイレですけれども、この公園のトイレというのは、やっぱり災害のときに、かなり清掃とかも★★すぐ使えなくなっちゃうだろうということもあるので、今回、区で考える災害用トイレとしては考えていないのです。ですからそれ以外のところで、トイレ空白地域を埋めていくという考え方になってございますので、公園のトイレが減っていくことについては、今回災害用トイレに関しては、関係ないと言ってしまったらあれですけれども、一部使うことによって、そこで充足させるというような考え方になっております。

○鹿浜昭委員 何かその辺が、僕らに伝わってこないのですよ、はっきりと。だからやっぱり公園トイレを改良というか、何かこうしながら災害用トイレにしていくとか、そういうような建設的な考え方という感じをしない。どうも縦割りで進んでるような感じがしてしまっていて、そういうものをやっぱりしっかりと僕らに分かるような説明もいただきたい。そういうふうに思うのですけれども、いかがですか。

○副区長 実は、トイレ空白地域を、私も現場を見て、災害用のトイレと公園のトイレを考えたときに、もともと公園のトイレは災害用トイレに入っていないと、一つも入っていないという考え方で、実は今まで計画をつくられてきました。でも現場を見たときに、使えるトイレもあるわけです。例えば、いろいろな貯水池があるとか、そういう条件をもう1回、1221か所回って、公園のトイレでも災害用トイレに使えるところは使っちゃいましょう。それで埋めていっちゃいましょうということで今やっと動き出したところですので、それをしっかりと伝えられるようにしていきたいと思えます。少しお時間ください。

○鹿浜昭委員 分かりました。

その辺がやっぱり無駄も当然なくなっていくだろうし、費用も掛からなくなるだろうし、何かこう全然相反する動きを取ってるような感じをちょっと受けたものですから、質問させていただきました。

それと、あだち防災リーダーの件なのですけれども、これもすごく防災士さんのために、ある意味、こういう形で、考え方として防災リーダーを生かしていくというような形で、防災リーダーを設立していただいたというような経緯もあるのかなというふうに、私はありがたく思っているのですけれども、その目的が、以前水害時におけるコミュニティタイムラインの実効性を高める活動を積極的に取り組むために進めていくという形で、1回目にはちょっとそういう形で進めていかれたかと思うのですけれども、ホームページを見ると、いまだに更新がされてないし、今、震災の方も含めて進めていただいているかとは思っているのですけれども、その辺がちょっと、もう一度、ホームページの方も見直していただいて、今ある29人の中で、何人をこういう形で、組織をどういう形で持っていくかというのもやっぱり含めて、明確的なものがないし、ホームページ上でも、これは一昨年の11月9日更新のまんまで、その後、更新されてないし、その辺が登録の対象となるかどうか、再募集の話もちょっと事前のときにお話しさせてもらったのですけれども、何か組織としてこうしていくということをもうちょっと明確にしていきたいなあというふうに思うのですけれども、いかがですか、その辺は。

○防災戦略課長 ホームページ、もう一度再確認させていただきます。すみませんでした。内容が更新されてなければ、今の現状の震災対策にも広げてるといったところも含めて、内容を分かりやすく説明できればと考えております。

○鹿浜昭委員 充実した活動を今後も進めていって



- 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

いただきたいというふうに思うので、よろしく  
お願いしたいと思います。

以上です。

○水野あゆみ委員長 他にございませんか。

○市川おさと委員 旧入谷南小学校跡地の災害拠点  
施設についてなのですが、場合によっては  
100億円というような数字、さっき出ました。  
非常に衝撃的な数字だなと思います。

もう1回、ちょっと丁寧に、なぜ災害拠点施設  
が必要なのかということを丁寧に教えてもらいた  
いというのと、それからすぐ近所に東京都の北足  
立市場やトラックターミナルもあるわけでありま  
すけれども、そことの連携や役割分担、あるいは  
発災時の指揮命令系統がどうなっているのかとい  
うこと、これについても併せて教えていただきた  
いというふうに思います。

○防災戦略課長 まず令和6年の1月1日に、能登  
地震が起きました。そのときに、受援という言葉  
がそこからかなり明るみに、昔からあったのです  
が、そこでかなり明るみに出てきました。内容とし  
ましては、金沢県のところに、国等々からのプ  
ッシュ支援がそこに集まって、集まったのだけ  
ども物資が各市町村に届くまで時間が掛かった、  
若しくは各市町村でも受援を受け切れる体制がな  
かったといったところで、やはり屋根付きのちょ  
っと広いようなスペースが受援を受ける上で、物  
資を集める上で必要だろうという視点から、こち  
ら拠点の施設を造っていきたいというふうに我々  
考えております。

○危機管理部長 ちょっと若干補足いたします。

大きく分けて2点あります、造る目的。一つは、  
まず備蓄の倉庫が全体的に足りてないということ  
です。今、区外の八潮の方にも倉庫借りているよ  
うな状況ですので、やはり区内に1か所に集めた  
い。各地にも倉庫ありますけれども、そことの役  
割をちゃんと明確にしたいということがまず一つ。

そしてもう一つは、二つ目は、今吉倉が申した

とおり、受け入れる体制を整えないといけない。  
いろいろなところからいろいろな物資が五月雨式  
に来る、それをどこで受けるのかということ、今の  
計画では、区内に3か所テントを張って、都立公  
園にテントを張ってそこで受けるというような計  
画になっております。それはちょっと現実的では  
ないだろうということもあるので、やっぱり一度  
にたくさんのものを受け入れられる拠点をづくり  
たい、この二つでございます。

○市川おさと委員 分かりましたけれども、ちょ  
っと質問の後半部分、すぐ近所に北足立市場やトラ  
ックターミナルもあると。このあたりとの連携役  
割分担や発災時の指揮命令系統ですね、これにつ  
いてはどうなっているのかということを改めてお  
答えください。

○防災戦略課長 例えばトラックターミナルにつ  
きましては、こちら東京都の物資が集まる拠点、名  
前すみません、度忘れしてしまいました。こちら  
広域輸送拠点に指定されておりますので、まず、  
一時的に国から東京都に物資が送られるときに、  
足立トラックターミナルに来ると、そこで東京都  
がそこから受けたものを今度は区市町村、足立区、  
北区等々に、そこから配っていくというような役  
割になっております。ちなみに足立市場につきま  
しては、今のところ我々で利用できる施設とはな  
っておりません。

○危機管理部長 すみません。指揮命令系統につ  
いてですけれども、各避難所でこういった物資が足  
りてるとか足りてないという情報が、区役所の7  
階に集まってきます。その集まった情報を基に、  
こちらの方から、区からどこどこから何をどこ  
こへ運んでくださいというようなオーダーを出し  
てやっていく。そこに今の想定では、佐川さんた  
ちですね、共同企業体の方々にも加わっていただ  
き、そして運ぶ人たちとしては、佐川さんもはじ  
め、それから赤帽の皆様、それからトラック協会、  
桃太郎便さんとか、そういった輸送業者の方との

- ・ 正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。
- ・ 音声認識システムで認識できなかった発言等は「★」で表示しています。
- ・ 「★」の数は発言の文字数を表しているものではありません。

災害協定ありますので、そういった方に運んでいただく、そういったことを指揮命令系統としては考えております。

○市川おさと委員 そうしますと、区が頭を取って、先ほど言った足立トラックターミナルにも指示を出してということになっていくのかなというふうに思うのですが、そういった話につきましても、当然東京都との連携というのですかね、話は付いているという理解でよろしいのでしょうか。

○防災戦略課長 その辺の計画につきましては、東京都の地域防災計画と連携しておりますので、そのような形になっております。

また発災時には、東京都の災害情報システム等々も、足立区と東京都で共有されることになっております。

○市川おさと委員 分かりました。入谷南小学校とトラックターミナルはすごく場所的にも近いですから、その辺がちゃんと連携が取れてないと何かどうなっちゃうのかなというのが素朴な疑問としてありましたので、今やり取りをしました。引き続き、東京都との連携を取りながら、発災時混乱がないようによろしくお願いいたします。

○水野あゆみ委員長 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○水野あゆみ委員長 なしと認めます。

————— ◇ —————

○水野あゆみ委員長 その他に移ります。

何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○水野あゆみ委員長 なしと認めます。

では以上をもちまして、災害・オウム対策調査特別委員会を終了いたします。

午前11時18分閉会